

配当金のお支払いについてのご案内

第103期期末配当金は、次のいずれかの方法により、2021年6月23日(水)からお支払い申し上げます。

■口座振込にてお受け取りの株主様

「配当金計算書」および「お振込先について」を同封していますので、ご確認ください。

■株式数比例配分方式をご指定の株主様

「配当金計算書」および「配当金のお受け取り方法について」を同封しています。なお、源泉徴収税額計算は証券会社等にて行われますので、確定申告の際は、お取引の証券会社等へご確認ください。

■配当金領収証によりお受け取りの株主様

同封の「第103期期末配当金領収証」記載のお支払い方法をご高覧の上、最寄りのゆうちょ銀行本支店・出張所および郵便局(銀行代理業者)にて、払渡しの期間内(2021年6月23日(水)~2021年7月30日(金))にお受け取りください。なお、同封の「配当金計算書」は、配当金をお受け取り後の配当金額のご確認資料としてご使用いただけます。

■次回より口座振込をご希望の場合

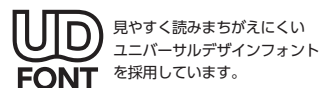
証券会社等に口座をお持ちの株主様はお取引の証券会社等にて、特別口座の株主様はみずほ信託銀行にて、それぞれお手続きください。

株式事務に関するご案内

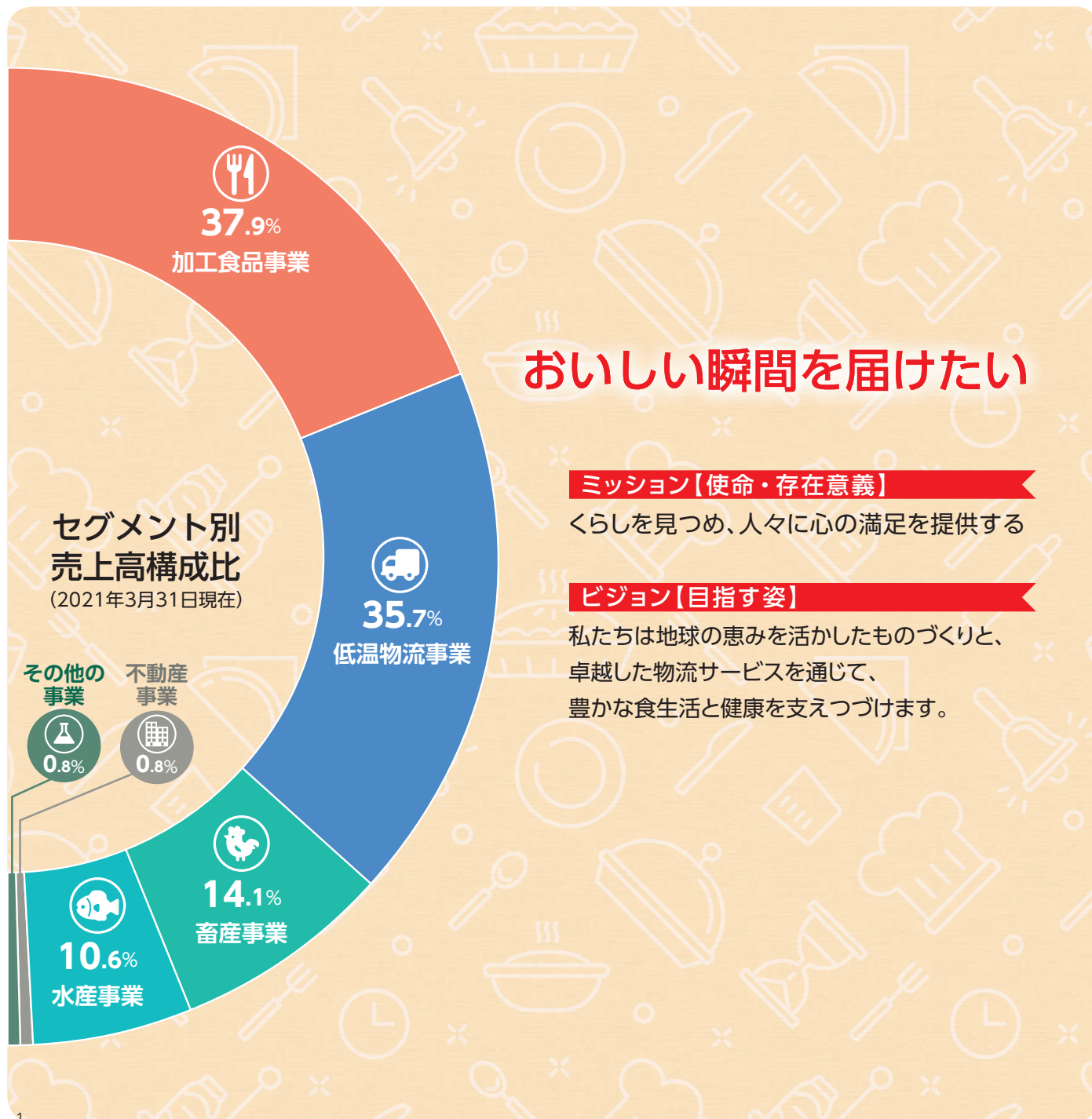
	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)
郵送物送付先	お取引の証券会社等	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問合せ先		フリーダイヤル 0120-288-324 受付時間：9:00~17:00(土・日・祝日を除く)
各種手続お取り扱い(住所変更、配当金受け取り方法の変更、単元未満株式の買取・買増等)		<ul style="list-style-type: none"> ●みずほ証券 本店および全国各支店 (プラネットブースでもお取り扱いいたします) ●みずほ信託銀行 本店および全国各支店 ※トラストラウンジではお取り扱いできませんので、ご了承ください。
未払配当金のお支払い	みずほ信託銀行およびみずほ銀行 本店および全国各支店 (みずほ証券では、取次のみとなります)	
支払明細の発行	みずほ信託銀行 証券代行部(フリーダイヤル 0120-288-324)にご相談ください。	

単元未満株式をお持ちの株主様へのご案内

- 単元未満株式は市場で売買できません。買取・買増については、お取引の証券会社等にご相談ください。
- 特別口座にある株式の買取・買増については、みずほ信託銀行にご相談ください。
(特別口座では単元株の売買ができないため、売買をご希望の方は、証券会社等に口座を開設し株式を振り替えていただく必要があります)



PROJECT- With the Earth
この冊子の印刷・製本に係るCO₂は PROJECT- With the Earth を 選んでオフセット(相殺)しています。



おいしい瞬間を届けたい

ミッション【使命・存在意義】

暮らしを見つめ、人々に心の満足を提供する

ビジョン【目指す姿】

私たちは地球の恵みを活かしたものづくりと、卓越した物流サービスを通じて、豊かな食生活と健康を支えつづけます。

株主の皆様へ

経営環境の変化を的確に捉え、 持続的成長へ



代表取締役会長

代表取締役社長

大谷 邦夫

大塚 顕也

第103期株主通信をお届けするにあたり、日頃のご支援に厚く御礼申し上げます。

この度の新型コロナウイルス感染症に罹患された皆様、そして感染拡大により厳しい生活環境におられる皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

当期における世界経済は、新型コロナウイルス感染拡大により急速に落ち込んだことから、各国政府は大規模な財政出動により景気の下支えを図ってきました。また、わが国経済においても、企業業績の二極化が進むなか、感染の再拡大により経済活動への懸念が広がり、景気の先行きは依然として不透明な状況が続きました。

食品関連業界では、外出自粛により外食需要が低迷する一方、巣ごもり消費による内食・中食需要が高まるなど、食生活のスタイルに大きな変化が生じ、これらの変化を見据えた業態転換を模索する動きが見られました。また、労働力不足や新型コロナウイルス感染防止に対応すべく、先端技術を活用した自動化や省人化へ向けた動きも加速しました。

当社グループは、生活を支える社会的基盤として、従業員

を含むサプライチェーン上の安全に十分配慮した上で企業活動を行い、経営環境の変化を的確に捉えながら「持続的な利益成長」と「豊かな食生活と健康を支える新たな価値の創造」の実現に向けた施策に取り組みました。加工食品事業では、拡大する家庭内での喫食需要の取り込みのほか、生活者ニーズの変化を捉えた商品開発や販売活動に注力するとともに、継続的な生産性改善とコストダウンに努めました。また、低温物流事業では、巣ごもり消費に伴う物流需要を着実に取り込むとともに、運送効率向上や庫内作業デジタル化などの業務革新に取り組みました。

2021年度はグループ中期経営計画「WeWill 2021」の最終年度となります。日々変化する社会ニーズを的確かつ迅速に見極め、経営基盤の強化や新たなマーケットに対応できる設備投資などを行い、引き続き成長を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、より一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2021年6月吉日



株式会社ニチレイ
代表取締役社長 大橋 顕也

TOP Interview

トピックインタビュー

コロナ禍によって
社会ニーズや生活スタイルの変化が加速するなか、
グループ中期経営計画「WeWill 2021」は
最終年度を迎えました。
変化に対応しながら計画達成を目指し、
さらに長期的視点でグループの将来を見据える
大橋顕也社長に、話を聞きました。

Q1 「WeWill 2021」2年目の成果は

A1 おかげさまで、2年目の業績は全体として
計画線に乗っています。これは、コロナ禍
においてもニチレイグループが、食を扱うインフラ
企業として社会のお役に立てていることの一つの
証と考えています。中食・内食のニーズ増を背景に、
加工食品事業では家庭用冷凍食品の売上増が
続き、低温物流事業は小売店向けの仕分け配送を
行うTC(トランスファーセンター)事業が大きく
業績を伸ばしました。水産・畜産事業についても、

小売量販店での魚介類や精肉の販売が伸びたこと
で、比較的好調な結果となりました。全体として、
ニューノーマルにおける新しいマーケットやニーズ
の動きに対応したカテゴリーでしっかり数字を
伸ばすことができます。

Q2 コロナ禍における課題と 最終年度の取り組みの方針は

A2 コロナ禍による大きな変化として、「人が
動かず、物が動く」ということがあります。
人の移動に制限がかかり、食に関しては食べ方や



食べる物、場所などが大きく変化しています。それ
によって新たなマーケットや価値観が生まれ、
コロナ禍後にもその変化は続いていくと考えて
います。

1 売上の拡大と設備投資のバランス

昨年度、利益は確保できましたが、加工食品事業
の業務用冷凍食品や水産・畜産事業の外食関係
の不振によって、全体売上はかなり落ち込みました。
これは、社会のニーズに事業がうまくマッチしきれ
なかったことが数字に表れたといえます。変化の
先を見極め、新たなマーケットやニーズに対して
スピード感をもって魅力的な商品やサービスを
提供する。それによって成長のバロメーターで
ある売上を拡大することが、まずは3年目の課題
です。

また、コロナ禍の影響で遅れている設備投資に
ついては、将来の成長に不可欠なものとして3年目
でしっかり計画達成していきます。新たなマーケット
に対応できる設備や急務とされる環境問題への
対応など、ニューノーマル時代に必要な修正を
加えつつバランスよく投資を実行します。

2 デジタル化の推進

「人が動かず、物が動く」という変化は、デジタル

化の波も加速させています。もともと物流業界
では人手不足が課題でしたが、コロナ禍によって、
小売店の取扱量が増加しました。ニチレイロジ
グループでは、物流業界の先陣を切って事務や
倉庫内作業のデジタル化による効率化・省力化を
進めていましたが、さらに加速させる必要があり
ます。また、加工食品事業では、サプライチェーン
の複雑化やニーズの多様化も進んでいます。従来
は熟練従業員が担っていた工場の生産計画や要員
計画にAI技術を導入するなど、デジタル化による
脱属人化と効率化を推進していきます。





3 経営資源(コスト)の再配分

コロナ禍においては、働き方も大きく変化しました。テレワークやオンライン会議が当たり前になり、従業員とのコミュニケーションのハードルが下がるなどの好影響は、今後もさらに発展させたいと考えています。また、予想以上に大きかったのが、人の移動が激減したことによる旅費などのコストの減少です。2020年度は、この浮いたコストが利益増に貢献しましたが、今後は、新時代にマッチングできる体制構築のための人財教育などに有効に再配分していこうと考えています。



Q3 次期中計や長期経営目標の実現に向け「マテリアリティ」の役割は

A3 昨年特定したマテリアリティは、ニチレイグループが目指す「2030年の姿」に到達するための道しるべを5つの重要事項として明確化したものです。「食と健康における新たな価値の創造」や「気候変動への取り組み」など、グループの成長に欠かせない課題を社内外にはっきり示すとともに、「ミッション」「ビジョン」や「ニチレイの約束」を、実際の取り組みにつなげやすくするためにもう少し具体的な内容に落とし込んだものもあります。

現在は、マテリアリティを次期中期経営計画に組み込んでいくために、具体的なアクションプランや目標設定について各事業会社と議論を重ねています。

Q4 新たな価値創造を目指すためのニチレイ流IMSとは

A4 ニチレイ流IMS(イノベーション・マネジメント・システム)は、新規事業の創出を会社として長期的に支えるための仕組みです。新規事業を育てるには長い時間が必要で、これ

までには、結果を焦ったために潰れてしまった事業の芽も数多くあります。その問題を解決するために、まずは仕組みをきちんとつくる必要があると考えました。さらに、意欲ある従業員に対して、教育や事業アイデアを形にするサポートを行うプログラムを本格始動させました。現在ニチレイの新規事業として、食嗜好分析システム「conomeal[®]」や新時代の主食を提案する「ごはんのみらい」が誕生し、各種メディアからも注目されています。ニチレイ流IMSを成熟させながら、これらに続く数多くの革新的な新規事業の創出を目指します。

Q5 株主の皆様へのメッセージ

A5 変化の激しい時代の経営には、長期的視点を持ちつつ、対応のスピード感を高めることが必要と考えています。これは相反する課題も多く、議論やぶつかり合いも多くなると思います。しかし、私はそれをむしろ健全なことと受け止め、柔軟にさまざまな考えを受け入れられる組織として成長を続けたいと考えています。

また、経済活動に大きな打撃をもたらしている新型コロナウイルス感染症の拡大による変化は、



私はチャンスと捉えています。この変化に対して真剣かつポジティブに向き合い対応していくことで、ニチレイグループが社会から存在を認められる企業であり続けたいと思います。

今後とも、皆様には長い目で見守っていただき、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。



祝20周年！『本格炒め炒飯®』



㈱ニチレイフーズは、発売から20周年を迎えた『本格炒め炒飯®』の新テレビCM「『美味しい』は、とまらない。」篇を4月から放送しております。

『本格炒め炒飯®』は、20年連続売上No.1*の当社を代表するロングセラー商品です。

冷凍炒飯のパイオニアとして、プロの料理人が作る“本格的な美味しさ”を再現するために、毎年

※インターシズRI 冷凍調理・炒飯カテゴリー販売金額(累計)、2001年3月～2021年2月

改良を重ねてきました。今春からは「新・三段階炒め製法」を採用し、“パラッと香ばしい風味”がさらにアップしています。

CMでは深田恭子さんが、圧倒的な炒めパワーで作られる“パラパラのご飯”と“ゴロゴロ入った焼豚”に目を奪われ、思わず頬張る姿が印象的な内容となっておりますのでぜひご覧ください。

NEW 2021年春季新商品



『てり焼きチキンステーキ』

オーブンでじっくり焼き上げたこんがりジューシーな『てり焼きチキンステーキ』です。特製の醤油だれには特選丸大豆醤油、みりん、隠し味に味噌を使用し、ごはんがすすむ味付けです。1枚約120gの食べ応えのあるサイズで、夕食のおかずとしても最適です。



『かつおだし香るじゃこ焼めし』

風味の良いじゃことねぎが入った、かつおだしが香る和風の焼めしです。焼津産かつお節のだしをベースに、かつお節粉とたまり醤油を使用。独自の炒め技術により香ばしくやさしい味わいに仕上げています。



『大豆ミートのハンバーグ』

お肉を使用せず、大豆ミートで作ったハンバーグです。大豆ミートを数種類組み合わせることで、お肉のような食感やジューシー感を再現しました。ハンバーグ1個当たりのイソフラボン摂取量は約25mg。お肉を使用したハンバーグと比較して、コレステロールは約95%カット*しています。野菜のうまみを活かしたデミグラスソース仕立てで、食卓のおかずとしてもおすすめです。

※当社従来品「お弁当にGood!® ミニハンバーグ」との重量当たりの比較



(株)ニチレイフーズが近畿大学と共同で『アセロラぶり®』を開発



(株)ニチレイフーズは、近畿大学(大阪府東大阪市)と共同で『アセロラぶり®』を開発しました。北関東を中心に食品スーパーを展開するベシアの店舗で1月末に限定発売。大変ご好評をいただき、4月にも再販売をいたしました。

『アセロラぶり®』は、ニチレイアセロラ商品の生産で生成される副産物のアセロラ搾りかす粉末を配合飼料に加えた餌で仕上げた養殖ブリです。

アセロラ由来の抗酸化ポリフェノールによる

「持続する鮮やかな赤身」と、後味のすっきりした「爽やかな味わい」が特徴です。

『アセロラぶり®』は、酸化による商品の劣化を遅らせる技術を活用したもので、この技術で食品のロス減らし、持続可能な養殖業の推進に取り組んでまいります。



サプライヤーCSRガイドライン制定

(株)ニチレイフーズは、サプライチェーン全体における社会的責任(CSR)をより一層果たすべく、あらためてニチレイフーズグループが遵守すべき事項をグローバル基準に沿って定めた『サプライヤーCSRガイドライン』を制定いたしました。

ガイドラインを通して、サプライヤー様とニチレイフーズグループが基本的な価値観を共有し、さらには対話を通じてより有益な関係を構築して、協働で持続可能な社会の実現に貢献することを目指してまいります。

詳細はこちら

<https://www.nichireifoods.co.jp/corporate/csr/procurement.html>



(株)ニチレイ ホームページをリニューアル

(株)ニチレイは、3月1日にニチレイ ホームページをリニューアルしました。

今回のリニューアルは、ユーザー視点に立った使いやすさの向上を目的とし、より見やすく、快適にご利用いただけるようデザインの変更や導線の整理などを行いました。

さらに新コンテンツとして、ニチレイの概要を数値で表した「早わかり ニチレイってこんな会社」

や食品ロスに関する情報ページ「ニチレイ 食品ロス研究所」も公開しています。

今回のリニューアル対象は、トップページのほか、「企業情報」、「IR・投資家情報」、「プレスリリース」ページで、その他のページについては、次年度にオープン予定です。

これからもコンテンツの充実を図り、より使いやすいサイト運営を目指してまいります。

●ニチレイホームページはこちら
<https://www.nichirei.co.jp>



●新コンテンツ「ニチレイ 食品ロス研究所」はこちら
https://www.nichirei.co.jp/food_loss/



2年連続！「健康経営銘柄」選定



(株)ニチレイは、2021年3月4日、経済産業省と東京証券取引所が共同で選定する「健康経営銘柄」に2年連続で選定されました。

「健康経営銘柄」は、東京証券取引所の上場会社の中から、従業員等の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に取り組んでいる企業を選定するものです。

当社グループは、従業員の健康を重要な経営課題として位置づけ、「ニチレイ健康推進センター」を

設置し、健康保険組合、労働組合と活発に意見交換を行いながら、さまざまなコラボヘルスに取り組んでいる点などが評価されました。

また、コロナ禍における従業員の健康支援として、オンラインセミナー形式の健康推進プログラムの実施や、保健師によるラジオ体操・ストレッチ動画の配信などにも取り組んでまいりました。

当社グループは、食と健康を支える企業として従業員一人ひとりの健康づくりに今後も取り組んでまいります。



「純和鶏®」が各賞を受賞

(株)ニチレイフレッシュのこだわり素材「純和鶏®」が今注目を集めています。今回は、各賞受賞のご報告と「純和鶏®」の特徴についてご紹介します。



1 持続可能性に配慮した鶏肉の特色JAS認証を取得

2020年10月に農林水産省登録認証機関である(株)エコデザイン認証センターより認証され、持続可能性に配慮した鶏肉の特色JASとして国内第一号の認証となりました。「持続可能性に配慮した鶏卵・鶏肉」規格は、国産鶏種普及を目的に2020年3月に制定された新たなJAS規格です。生産資源の循環などの持続性(サステナビリティ)とアニマルウェルフェアを考慮した鶏卵・鶏肉を対象としています。「純和鶏®」は、純粋な国産鶏種の普及ということに加え、鶏ふんを肥料化し、その肥料で飼料米を生産、その飼料米を餌として「純和鶏®」に与えるという循環型の生産方法が評価されました。



2 「第39回ジャパン・フード・セレクション」にて最高位「グランプリ」受賞

当該審査会には「純和鶏®」のもも肉を出品。その歯ごたえや風味の良さ、うまみを評価いただき、2020年12月に最高位のグランプリを受賞しました。

◆ジャパン・フード・セレクションとは
一般社団法人日本フードアナリスト協会が主催。日本オリジナルの本格的な食品・食材を評価・認証する制度です。



3 「International Taste Institute」(国際味覚審査機構) 優秀味覚賞「三ツ星」受賞

2020年11月にベルギーで開催され、最高位の優秀味覚賞「三ツ星」を受賞。日本の鶏肉で「三ツ星」を受賞したのは初となります。「純和鶏®」のむね肉を出品し、その味を評価。総合評定100点中92.5点のハイスコアを獲得しました。

◆International Taste Institute (国際味覚審査機構) とは
ベルギーのブリュッセルに拠点を置き、15のヨーロッパの調理師・ソムリエ協会所属の200人を超える著名なシェフとソムリエで構成された審査員が、世界中の食品・飲料品の味の評価および認定を行っています。



「純和鶏®」とは?



日本で育種改良された純国産鶏種

(株)ニチレイフレッシュが養鶏、販売している「純和鶏®」は、日本国内で飼育された純国産の鶏種です。国産肉用鶏の中でも純国産鶏種の割合はわずか1~2%程度*で、希少性の高い鶏肉です。

海外からの輸入が鳥インフルエンザなどの疫病で停止されれば、国内の養鶏は大きな影響を受けることになります。基礎鶏と言われる4世代前から日本で育種改良された純国産の鶏種「純和鶏®」は、食料の持続的自給の面からも、海外に依存しない、まさに日本のための鶏肉ブランドといえるのです。

*独立行政法人家畜改良センター調べ

循環型生産プロジェクト

「純和鶏®」を飼育しているニチレイフレッシュファーム^{ひらの}洋野農場では、「純和鶏®」の鶏ふんを有機質肥料に加工し、「純和鶏®」専用飼料となる飼料米の生産に活用しています。JA新しいわて農協の協力で、岩手県軽米町と洋野町、その近郊の稲作農家と契約を結び、飼料米を生産。水田の多くは、米の生産調整により生まれた休耕田を活用したものです。「純和鶏®」から始まる循環型の生産サイクルは、地域農業の再生にも持続的に貢献しています。



洋野農場

鶏ふん有機肥料化設備

有機肥料化された鶏ふん

おいしさを実現

適度な弾力と噛むほどにコクを感じるうまみの濃いもも肉、繊維が細かくやわらかでジューシーなむね肉など、日本人がおいしいと感じるような鶏肉に仕上げました。



基礎鶏まで追えるトレーサビリティ

「純和鶏®」は、雛の受け入れから養鶏記録、ワクチンなどの薬剤管理まですべて厳格なプログラムのもとで行われています。一般に流通する鶏肉と違い、肉からそのルーツである基礎鶏までロット単位で履歴を遡ることが可能です。生活者へ安全で安心の鶏肉をお届けするための万全の養鶏環境も、「純和鶏®」のこだわりの一つです。



本牧物流センター稼働



2021年3月1日
稼働開始



外観

ニチレイロジグループで地域保管事業を担う(株)キョクレイは、2021年3月1日、「本牧物流センター」(神奈川県横浜市)を稼働しました。

当センターは、デジタル技術を導入した最新鋭の冷蔵倉庫です。パレット自動倉庫、自動運転フォークリフト、移動ラックなどの自動化設備を

導入し、業務効率化および省人化を実現しました。入退室時には、体表面の温度測定を兼ねた顔認証システムを導入するなどセキュリティ機能も強化しています。

また、省エネルギー型冷凍装置として、高効率自然冷媒(NH₃・アンモニア/CO₂・炭酸ガス)



自動運転
フォーク
リフト

冷凍機を採用。環境に配慮した自然冷媒を使用し、効率の良い冷却機能と安全性を兼ね備えたシステムです。

さらに、LED照明を採用するなど、環境負荷の低減にも努めています。

設備能力は3万トンを超え、さまざまな温度帯に対応した小部屋保管庫を保有。きめ細かな温度管理が可能となり、お客様の多様なニーズにお応えしてまいります。

輸配送機能においては、周辺の既存拠点である大黒物流センターと連携し、輸配送網を構築。グループ会社である(株)NKトランスの事業所をセンター内に設置することで連携を強化し運送機能の充実を図ります。

さらに、車両待機時間の短縮を目的とした、



パレット
自動倉庫

トラック事前予約システムを導入し、社会課題の解決にも取り組んでまいります。

ニチレイロジグループは、新たな拠点を加えた物流ネットワークにより、今後もお客様の幅広いニーズにお応えし、付加価値の高い物流サービスの安定提供に努めてまいります。

■本牧物流センターの概要

所在地	神奈川県横浜市中区本牧ふ頭 8番110	
設備能力	30,773トン	
	F級冷蔵庫	8,812トン
	FC級兼用	7,756トン
	C級	14,205トン
構造	地上4階建 免震構造(冷蔵倉庫部分)	
接車バース	24基	



「ダブル連結トラック」運行開始

(株)ニチレイロジグループ本社は、NEXT Logistics Japan株式会社(以下NLJ)と共同で、日本初の常温トラクターと冷凍トレーラーを組み合わせたダブル連結トラックの運行を2021年3月23日から開始しました。

本運行は、ニチレイロジグループの荷物を積んだ専用冷凍トレーラーを、NLJの中継拠点であるクロスドック(積み替え拠点)で常温トラクターと連結し、関東一関西間をダブル連結トラックで輸送します。

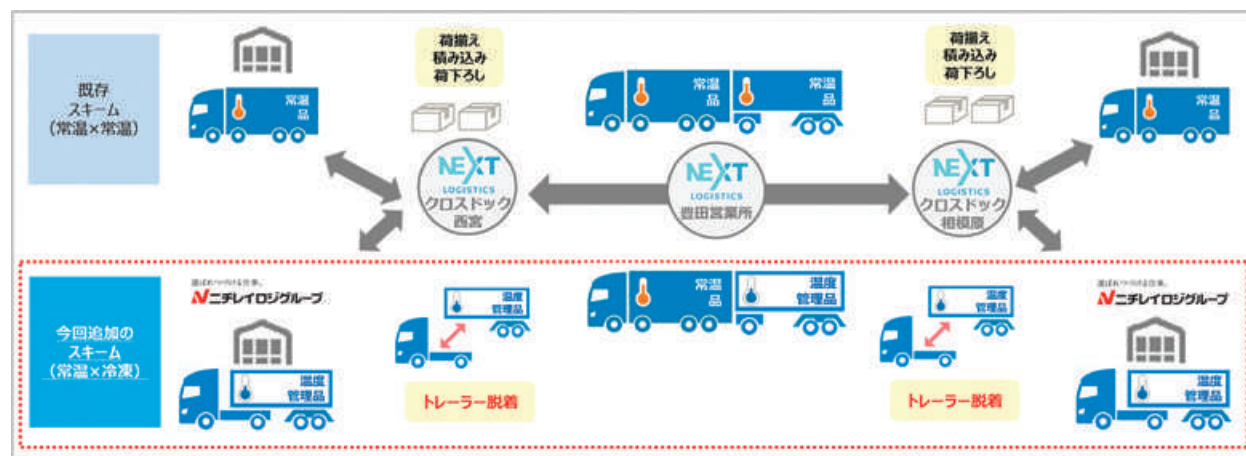
トラクターとトレーラーの脱着作業のみで同時輸送が可能となるため、クロスドックでの荷役作業や待機時間の削減によりドライバーの負荷を



全長25mの連結トラック

軽減できるほか、低温・常温貨物の同時輸送を実現することで輸送効率も向上します。

今後も長距離輸送の物流拠点拡張に向けた取り組みを進め、物流業界のドライバー不足など社会課題の解決と更なる環境負荷低減に取り組んでまいります。



連結決算ハイライト

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

連結貸借対照表(要旨)

2021年3月31日現在

(単位:百万円)

区 分	金 額
流動資産	169,572
固定資産	236,146
資産合計	405,719
流動負債	108,506
固定負債	86,786
負債合計	195,293
株主資本	191,002
その他の包括利益累計額	12,323
非支配株主持分	7,100
純資産合計	210,426
負債純資産合計	405,719
設備投資等の金額*	37,776
有利子負債 (リース債務除く)	96,423 (80,757)
1株当たり純資産額	1,525円76銭

*設備投資等の金額は、有形固定資産および無形固定資産に係る投資額の合計金額です。

連結損益計算書(要旨)

2020年4月1日から2021年3月31日まで

(単位:百万円)

区 分	金 額
売上高	572,757
営業利益	32,949
経常利益	33,532
税金等調整前当期純利益	31,603
当期純利益	22,649
親会社株主に帰属する当期純利益	21,212
減価償却費	19,669
研究開発費	2,403
1株当たり当期純利益	159円19銭

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

2020年4月1日から2021年3月31日まで

(単位:百万円)

区 分	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー	45,453
投資活動によるキャッシュ・フロー	△32,213
財務活動によるキャッシュ・フロー	△10,709
現金及び現金同等物の期末残高	28,011

III 会社概要 (2021年6月22日現在)

社名 株式会社ニチレイ

所在地 〒104-8402
東京都中央区築地六丁目19番20号
ニチレイ東銀座ビル

設立 1942年12月*

役員	代表取締役会長	大谷邦夫
	代表取締役社長	大楠顕也
	取締役執行役員	田口巧
	取締役執行役員	川崎順司
	取締役執行役員	梅澤一彦
	取締役執行役員	竹永雅彦
	取締役執行役員	田邊弥静
	社外取締役	鷓澤静
	社外取締役	鰐淵美恵子
	社外取締役	昌子久仁子
	社外取締役	鍋嶋麻奈
	常勤監査役	安田一彦
	常勤監査役	加藤達志
	社外監査役	齊藤雄彦
	社外監査役	朝比奈清
	社外監査役	清田宗明
	執行役員	狩野豊
	執行役員	横井英夫
	執行役員	鈴木健二
	執行役員	高久祐一

会計監査人 EY新日本有限責任監査法人
東京都千代田区有楽町一丁目1番2号
東京ミッドタウン日比谷 日比谷三井タワー

*前身の帝国水産統制株式会社の設立年月
1945年12月 日本冷蔵株式会社に改組

III 株式の状況 (2021年3月31日現在)

発行可能株式総数 …………… 360,000,000株

発行済株式総数 …………… 140,003,877株
(うち自己株式 6,741,928株)

単元株式数 …………… 100株

株主数 …………… 19,635名

■大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	21,151	15.9
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	13,660	10.3
日本生命保険相互会社	5,744	4.3
株式会社みずほ銀行	3,813	2.9
株式会社三菱UFJ銀行	3,406	2.6
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ銀行口 再信託受託者 株式会社日本カストディ銀行	2,799	2.1
株式会社日清製粉グループ本社	2,719	2.0
農林中央金庫	2,675	2.0
第一生命保険株式会社	2,323	1.7
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	2,280	1.7

(注) 1.持株数は、千株未満を切り捨てて表示しています。
2.持株比率は、自己株式(6,741千株)を控除して計算しています。
小数点第2位で四捨五入して表示しています。

株主メモ

事業年度	4月1日から翌3月31日まで
定時株主総会	6月
株主確定日	定時株主総会・期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
上場証券取引所	東京(第一部)
証券コード	2871
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
公告方法	電子公告により行います。公告掲載場所は当社ホームページhttps://www.nichirei.co.jp/とします。 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告を行うことができない場合は、日本経済新聞に 公告を掲載します。

上場株式等の配当等に係る 税金についてのご案内

2013年12月31日をもって上場株式等の配当等に係る軽減税率が廃止されており、今回の第103期期末配当金の税率は本則税率となります。また、2037年12月31日までは、復興特別所得税として基準所得税額に対して2.1%を乗じた金額が課税されます。具体的な税率は下表をご参照ください。

■上場株式等の配当等に係る税金と税率

	2037年12月まで	2038年1月以降
所得税	15.315%	15%
復興特別所得税		-
住民税	5%	5%
合計	20.315%	20%

*上記税率は源泉徴収が行われる場合の税率です。なお、内国法人の場合は住民税が徴収されません。

*発行済株式の総数等の3%以上に相当する数または金額の株式等を有する個人の大口株主様につきましては、別の税率となりますのでご注意ください。

*詳細につきましては、所轄の税務署にお問合せください。

株主・投資家、個人投資家向け情報サイト

最新IRニュース、最新の決算発表情報をご覧ください。また、個人投資家向け情報サイトでは、個人投資家説明会時の決算資料をはじめ、ニチレイグループのことをわかりやすく紹介しています。

●ニチレイマーケティングサービス

ニチレイWebサイトの更新情報や新商品の情報を、電子メールでも受け取ることが可能です。登録は無料ですので、どうぞご利用ください。

<https://www.nichirei.co.jp/ir>



リニューアル
しました!